

コース名と特徴	イメージ	標準行程
<p>① 向坂山と白岩山コース</p> <p>■スキー場から向坂山山頂經由で南へ尾根を辿るコース。雪の状態によっては白岩山から白岩林道に向かって斜面を下るなど冬山ならではのコースを自在に楽しめます。往路は登降リフト利用。</p>	 <p>向坂山から日肥峠に下る</p>	<p>やまめの里(9:00)⇒《マイクロバス》⇒カシバル峠Pセンター(9:20)⇒《登行リフト》⇒五ヶ瀬ハイランドスキー場(9:40)→向坂山(10:20)→日肥峠(11:00)→白岩山(12:00)昼食(12:30)→水呑の頭(13:00)→白岩山(14:00)→日肥峠(14:30)→ゴボウ畠(14:50)→カシバル峠 15:10⇒《マイクロバス》⇒やまめの里(15:30)</p> <p>初心者向き</p>
<p>② 向坂山・三方山コース</p> <p>■向坂山から西へ広い尾根を辿る分水嶺コース。巨木が多い。鹿、猪などの動物の足跡をたどります。往復共登降リフト利用。</p>	 <p>三方山への尾根は広い</p>	<p>やまめの里(9:00)⇒《マイクロバス》⇒カシバル峠Pセンター9:20⇒《登行リフト》⇒五ヶ瀬ハイランドスキー場(9:40)→向坂山(10:20)→三方山へ約3キロ地点まで(12:00) 昼食(12:30)→向坂山(14:00)→五ヶ瀬ハイランドスキー場(14:20)⇒《リフト》⇒カシバル峠(15:00)⇒《マイクロバス》⇒やまめの里(15:20)</p> <p>初心者向き</p>
<p>③ 黒岩・小川岳コース</p> <p>■スキー場から北へ尾根を辿るコース。小川岳からはテンヤボに下山します。往路は登降リフト利用。</p>	 <p>小川岳コース</p>	<p>やまめの里(9:00)⇒《マイクロバス》⇒カシバル峠Pセンター9:20⇒《登行リフト》⇒五ヶ瀬ハイランドスキー場(9:40)→黒岩山頂(10:30)→小川岳山頂(12:30)昼食(13:00)→テンヤボ作業道(14:00)→基幹林道(15:00)⇒《マイクロバス》⇒やまめの里(15:20)</p> <p>中級者向き</p>
<p>④ 化石の森と日肥沢コース</p> <p>■ゴボウ畠から登山道を上り、化石の森の上部尾根から日肥沢を歩きます。冬ならではの深い森の光景が楽しめます。</p>	 <p>深い広がりの日肥沢を歩きます</p>	<p>やまめの里(9:00)⇒《マイクロバス》⇒ゴボウ畠登山口(9:30)→日肥峠(10:00)→化石の森の尾根(11:00)→日肥沢(12:00)昼食(13:00)→日肥峠(14:30)→ゴボウ畠(15:10)⇒《マイクロバス》⇒やまめの里(15:30) 積雪状態により時間は変更があります。</p> <p>上級者向き</p>
<p>⑥ 幻の滝コース</p> <p>■極寒の「幻の滝」を体験。滅多に見ることができない氷瀑の造形美を見ることができるでしょうか。</p>	 <p>01年5月17日発見の滝で落差75m。絶壁に囲まれて外から見えない為「幻の滝」と呼ばれるようになった。</p>	<p>やまめの里(9:00)⇒《マイクロバス》⇒木浦林道(10:00)→滝入口(11:00)→幻の滝(12:00)昼食(13:00)→滝入口(14:30)→木浦林道(15:10)⇒《マイクロバス》⇒やまめの里(16:00) 積雪状態により時間は変更があります。</p> <p>上級者向き</p>

スノーハイクと宿泊セットの料金

(前泊 後泊どちらかの一泊三食、スノーシューレンタル、ガイド料。二泊は下記の20%割引になります。)

・ホテル泊 12,600円 ・旅館泊 9,450円 ※行程中の登降リフト利用料金は別料金になります。服装は、防寒着、帽子、手袋、登山靴及びスパッツをご用意ください。レンタルでも一式揃えております。詳しくはお問い合わせください。4人様以上のお申込で随時催行します。・ワンデーは3,000円(10人以上で催行) 荒天の場合行程を変更することがあります。